

科目コード	ナンバリング	単位数	学期	授業区分	科目区分	履修区分	配当学年
330004	X-21-B-3-330004	2	後期	【1・2年次生】国際学部国際文化学科	専門	選択必修	1年
				【3年次生以上】国際学部国際文化学科	専門	選択必修	2年
				【3年次生以上】国際学部国際文化学科英語集中コース	専門	選択	2年
				【1-3年次生】経営情報学部経営学科	×	×	×
				【1-3年次生】経営情報学部情報システム学科	×	×	×
				【4年次生】情報文化学部情報システム学科経営コース	×	×	×
				【4年次生】情報文化学部情報システム学科情報コース	×	×	×

授業目的

19世紀と20世紀を中心に日露関係・日露交流の近現代史を概観します。
 受講者がロシア近現代史および日本近現代史の基礎的知識を持っていることを前提として講義をおこないます。
 参加者のみなさんの知識や興味関心を日露関係とその歴史に関するさまざまな知に結びつけることをめざします。
 ロシア極東を含む東北アジア地域を例にとりながら地域文化研究の方法についても考えます。

各回の授業内容

<p>第1回 【授】 ガイダンス 17世紀のアムール川流域と環オホーツク海地域 (詳細は下記のレジュメ参照) 【前・後】 レジュメにあらかじめ目を通し、不明な用語は事典・地図などの参考図書で確認しておいてください。事後には関係する研究文献を自分の関心に即して読み進めてください。(週あたりで計4時間程度)</p> <p>第2回 【授】 18世紀のアムール川流域と環オホーツク海地域 (詳細は下記のレジュメ参照) 【前・後】 レジュメにあらかじめ目を通し、不明な用語は事典・地図などの参考図書で確認しておいてください。事後には関係する研究文献を自分の関心に即して読み進めてください。(週あたりで計4時間程度)</p> <p>第3回 【授】 19世紀前半のサハリン島と千島列島 (詳細は下記のレジュメ参照) 【前・後】 レジュメにあらかじめ目を通し、不明な用語は事典・地図などの参考図書で確認しておいてください。事後には関係する研究文献を自分の関心に即して読み進めてください。(週あたりで計4時間程度)</p> <p>第4回 【授】 日露通好(和親)条約 (詳細は下記のレジュメ参照) 【前・後】 レジュメにあらかじめ目を通し、不明な用語は事典・地図などの参考図書で確認しておいてください。事後には関係する研究文献を自分の関心に即して読み進めてください。(週あたりで計4時間程度)</p> <p>第5回 【授】 流刑地サハリン島 (詳細は下記のレジュメ参照) 【前・後】 レジュメにあらかじめ目を通し、不明な用語は事典・地図などの参考図書で確認しておいてください。事後には関係する研究文献を自分の関心に即して読み進めてください。(週あたりで計4時間程度)</p> <p>第6回 【授】 19世紀末のロシア極東 (詳細は下記のレジュメ参照) 【前・後】 レジュメにあらかじめ目を通し、不明な用語は事典・地図などの参考図書で確認しておいてください。事後には関係する研究文献を自分の関心に即して読み進めてください。(週あたりで計4時間程度)</p> <p>第7回 【授】 日露戦争 (詳細は下記のレジュメ参照) 【前・後】 レジュメにあらかじめ目を通し、不明な用語は事典・地図などの参考図書で確認しておいてください。事後には関係する研究文献を自分の関心に即して読み進めてください。(週あたりで計4時間程度)</p> <p>第8回 【授】 ロシア革命とシベリア出兵 (詳細は下記のレジュメ参照) 【前・後】 レジュメにあらかじめ目を通し、不明な用語は事典・地図などの参考図書で確認しておいてください。事後には関係する研究文献を自分の関心に即して読み進めてください。(週あたりで計4時間程度)</p>	<p>第9回 【授】 革命・内戦・干渉戦期のサハリン島 (詳細は下記のレジュメ参照) 【前・後】 レジュメにあらかじめ目を通し、不明な用語は事典・地図などの参考図書で確認しておいてください。事後には関係する研究文献を自分の関心に即して読み進めてください。(週あたりで計4時間程度)</p> <p>第10回 【授】 ソ連極東の成立 (詳細は下記のレジュメ参照) 【前・後】 レジュメにあらかじめ目を通し、不明な用語は事典・地図などの参考図書で確認しておいてください。事後には関係する研究文献を自分の関心に即して読み進めてください。(週あたりで計4時間程度)</p> <p>第11回 【授】 日本領樺太 (詳細は下記のレジュメ参照) 【前・後】 レジュメにあらかじめ目を通し、不明な用語は事典・地図などの参考図書で確認しておいてください。事後には関係する研究文献を自分の関心に即して読み進めてください。(週あたりで計4時間程度)</p> <p>第12回 【授】 日ソ戦争 (詳細は下記のレジュメ参照) 【前・後】 レジュメにあらかじめ目を通し、不明な用語は事典・地図などの参考図書で確認しておいてください。事後には関係する研究文献を自分の関心に即して読み進めてください。(週あたりで計4時間程度)</p> <p>第13回 【授】 北洋漁業とは何か (詳細は下記のレジュメ参照) 【前・後】 レジュメにあらかじめ目を通し、不明な用語は事典・地図などの参考図書で確認しておいてください。事後には関係する研究文献を自分の関心に即して読み進めてください。(週あたりで計4時間程度)</p> <p>第14回 【授】 戦後の日露関係と領土問題 (詳細は下記のレジュメ参照) 【前・後】 レジュメにあらかじめ目を通し、不明な用語は事典・地図などの参考図書で確認しておいてください。事後には関係する研究文献を自分の関心に即して読み進めてください。(週あたりで計4時間程度)</p> <p>第15回 【授】 予備日(授業進度の調整のため) (内容にかかわらず授業は実施します)</p> <p>第16回</p>
--	--

成績評価方法

評価の目安：ペーパー課題(レポート)70%、授業態度30%
 学期末のペーパー課題(レポート)で成績を評価します。
 授業への参加度は出席回数をもとに評価します。
 (出席管理システムを利用します)
 定期試験はありません。
 後日、ポータルサイト上でペーパー課題の講評をおこないます。

教科書・参考書

常時使う教科書はありません。
 レジュメほか下記の資料はご自分でダウンロード・印刷してお持ちください。
 また、それらとは別に、講義の参考資料として地図帳の該当ページ(東北アジア全域、日本列島周辺)のコピーなど、この授業に関係する地域の詳細な地図を毎回持参してください。授業と課題に関する参考図書・研究文献は図書館の当該サイト(授業の指定図書)を参照してください。

受講に当たっての留意事項

参加者に求めるものは主体性と積極性です。
 受講者としての約束事を守れない方や授業の内容にそもそも関心がない方は受講をご遠慮ください。
 上にも記したとおり、受講者がロシア近現代史および日本近現代史の基礎的知識を持っていることを前提として講義をおこないます。
 本学の「現代ロシア論」および「日本史(近現代)」を学修済みであることが望ましいです。
 授業に必要な連絡はポータルサイト(Campusmate)上でおこないます。

実務経験のある教員による授業科目有無	実務経験と授業科目との関連性	アクティブラーニング(ディスカッション、グループワーク、発表等)の実施
--------------------	----------------	-------------------------------------

学習到達目標

近現代の日露関係史と東北アジア史の基礎知識をある程度まで体系的に話し、書けるようになってください。
 また、東北アジア地域の歴史を学ぶことの意義を自ら語れるようになってください。
 現代をよりよく生きるために歴史学の学びを生かすことができます。それを実感してください。

JABEE